

福祉ウェーブ 実行委員会ニュース

No.1 2024年7月26日 発行

2024年の福祉ウェーブは11月10日！！

「福祉ウェーブ」は、11月11日の「介護の日」に合わせて、福祉制度の拡充、福祉人材確保対策など「福祉に携わる利用者、運営、労働者、団体」が、よりよい福祉制度を作っていくために行動しようと始めました。これまでも、福祉制度拡充を求める街頭署名行動や、街中でのパレードなどを行い、コロナ禍の中でもオンラインでの集会など、これまでも多くの福祉に携わる人たちとの運動を作ってきました。



2024年は11月10日に、仙台市内で行う予定です。実行委員会では、これまで以上に共同、共感を広げるために毎月実行委員会を開催しています。福祉ウェーブの日までに、構成団体がどんな行動を行っているかを皆さんにお伝えするために、ニュースを発行していく予定にしています。今年も多くの参加で、福祉ウェーブを作っていきます。

これまで福祉ウェーブで集約した署名数は??

- ・2023年:介護219筆、保育431筆
(2020～2022年はコロナウイルス感染症に伴い、街頭署名を行いませんでした。)
- ・2019年:介護141筆、保育603筆
- ・2018年:介護176筆、保育646筆
- ・2017年:介護154筆、保育634筆
- ・2016年:介護204筆、保育794筆
- ・2015年:介護216筆、保育570筆

介護署名 1,110筆 保育署名 3,678筆

(街頭署名時間は、各1時間程度です。)

福祉ウェーブ実行委員会 構成団体

宮城県民主医療機関連合会 宮城県社会保障推進協議会 宮城県保育関係団体連絡会
社会福祉法人宮城厚生福祉会 宮城県医療労働組合連合会 宮城民主医療機関労働組合
全国福祉保育労働組合宮城支部

福祉保育労 中央行動

福祉保育労は、5月27日、中央行動を行いました。

「中央行動」とは、私たちの要求や現場実態を、担当省庁である厚生労働省や子ども家庭庁、福祉制度を作っている国会議員に伝え、改善を求める行動です。労働組合や各団体が、年に何回か行っています。福祉保育労の5月の中央行動は、国の予算が決まる6月に向けて行われ、予算編成に私たちの現場実態を反映させるために行います。今年の福祉保育労の行動は「みんなのじんけん(人権)、まもれるように」を合言葉に、福祉を利用する人も、福祉で働く人も、人権が保障されるような福祉現場であるようにという願いから、今回は行動を行っています。



午前中は情勢学習を行い、福祉制度がよくなり、予算が十分に確保されることで、私たち福祉労働者が安心して働ける処遇や、利用者が安心して利用できる職員配置基準などの重要性を共有しました。24年の春闘で、大企業で働く労働者の大幅な賃金引き上げが報道されましたが、私たち福祉労働者、中小企業で働く労働者(多くの子どもたちの保護者や利用者家族)は、未だ物価高騰の影響もあり、賃上げが追い付いていない現状があり、生活そのものが厳しくなっていることを打破するために行動することが提案されました。

午後は担当省庁との交渉が行われ、宮城からは、子ども家庭庁に対して「誰でも通園制度」の趣旨は理解できるが、現場の改善が最優先課題であり、職員の増員とそれに伴う労働条件の改善を訴えました。子ども家庭庁からは「職員配置基準の引き上げ、労働条件の改善は必要である認識」という回答を引き出しました。

福祉ウェーブを経験して

(これまで福祉ウェーブに関わってきた人たちから感じたことや思い、学びなどを、リレー方式で伝えていただくコーナーです。)

宮城厚生福祉会 佐々木隆行さん(前福祉ウェーブ実行委員)

みなさん、こんにちは。今回、福祉ウェーブニュース第1号への依頼をいただきましたので、福祉ウェーブに取り組むにあたって私が大事にしてきことを書いてみようと思います。

皆さんご存じの通り、福祉ウェーブは11月11日の介護の日に合わせて福祉制度の拡充を求める運動としてスタートしました。

はじめは街頭署名運動だけでしたが、回を重ねていく中で集会を行ったり、パレードを行ったり、署名場所がフォーラス前だけだったのが駅前にも広がったりしながら、今の形ができてきました。改めて、この広がりや毎年の積み重ねが運動を大きくしてこれたのだろうと思っています。

今、社会保障制度、社会福祉制度はどうでしょうか？働く私たち、利用する方の状況はどうでしょう？

利用する人に寄り添う制度なのか、そこで働く私たちの処遇はどうか…。年々改悪されていく制度の中で私たち自身が学び、怒り、何とかしたいと思うことがこの運動の原動力です。

福祉ウェーブは年一回の行動ではありますが、このような日々の実践の積み重ね、学びの積み重ねがあるからこそ参加人数も署名数も増え続けています。

実行委員の皆さんはみんな楽しく行動できるような工夫をされていると思います。私たちの思い、福祉の現状を多くの人に知ってもらうために今年もみんなで福祉ウェーブに行きましょう！